

◆シリーズ第18回

岩沼市図書館

館長 川名美貴子

歌に詠まれた「武隈の松（二木の松）」の近くに「学習館」が昭和46年秋に児童生徒、学生の学習の場所としてオープンしたのが岩沼市図書館の前身でした。その後、住民から本格的な図書館を求める声が高くなり、昭和50年春に岩沼市役所南隣に現在の図書館が開館いたしました。また、昭和59年には、東部、西部地区にある公民館内に各分館を開設いたしました。岩沼市図書館は、みんなの図書館、身近な図書館を目指して①図書館資料の整備と充実②図書館蔵書の公開をして情報を広く提供する③利用サービスの拡大を掲げております。より多くの市民のニーズに応えるためには、蔵書の新陳代謝は欠かせません。自由な資料提供の機関として、選書には新鮮さを失わないよう心がけております。

岩沼市では、絵本を通して親子の絆を深め子どもが健やかに成長し、豊かな心を育んでもらうため「親子ふれあい絵本事業」として、1歳8か月児健診の時に絵本を1人2冊差し上げております。この事業を推進するためにも、特に児童書を充実させることで来館した親子が「自由の本棚」と感じてくれればと思っております。

図書館運営にはボランティアの協力がなければ出来ないものがあります。絵本の読み聞かせですが、毎月のお話会の他に読書週間にち

なんだ行事には必ず参加していただいております。図書館を拠点として活動しているボランティアの方々には、これからも多方面で活動していけるよう惜しみないサポートをしていきたいと思っております。



住所：〒989-2433
宮城県岩沼市桜一丁目
5番38号
TEL：0223-24-3131
FAX：0223-25-1713

岩沼市図書館

- 蔵書冊数：106,893冊（平成18年3月31日現在）
- 貸出冊数：199,943冊（平成17年度実績）
- 開館時間：火曜日～金曜日（本館） 午前10時～午後6時
土曜日・日曜日 午前10時～午後5時
- 休館日：月曜日（分館は毎週日曜日）
館内整理日（原則として毎月末日）
祝（休）日（祝（休）日が月曜日の場合は、本館は翌火曜日も休館）
年末年始（12月28日から1月4日）
特別整理期間
- 交通：JR東北本線・常磐線「岩沼」駅
徒歩15分
岩沼市民バス「iバス」市役所前
下車徒歩2分

読書推進講演会

三浦明博さん「小説の隣にあるミステリー ～創作の背後で起きた、いくつかの奇妙な偶然～」



平成18年10月28日、本館2階ホール養賢堂で読書推進講演会が開催されました。今年度は、旧築館町（現栗原市）出身で第48回江戸川乱歩賞を受賞した作家の三浦明博さんをお招きし、本館ボランティアとしても活躍されているフリーアナウンサーの松尾あかりさんを聞き手に「小説の隣にあるミステリー ～創作の背後で起きた、いくつかの奇妙な偶然～」と題したお話を伺いました。以下、お話の一部をご紹介します。

松尾 2006年6月に出版された『^{トリック}兇釣師』について教えてください。
三浦 簡単にいえば、フライフィッシングのだまし方を人に応用した詐欺師の話ということになります。釣りに興味はなくても人が人をだます、だまされるという心理の綾には興味がある方は結構おられるんじゃないかと思います。人間心理のやり取りの助けになるものとして釣りを利用しました。また、今までは読者の気持ちを最後に解きほぐすような結末をあまり書いていないんですね。暗い感じの終わり方が多い。今度の連載では気持ちが明るくなるものを書きたいと言う気持ちがありました。連載中も手直しをしているときも、つらかったんですがすごく楽しかったですね。

松尾 今回のお話のタイトル、「小説の隣にあるミステリー」とはということですか？

三浦 今まで作品を書いている中でいくつか不思議な出来事がありました。新しいところでは『^{トリック}兇釣師』の中に、仙台から川崎に抜ける山道で登場人物が交通事故を起こすシーンがあります。連載が終わって本になるまで少し時間があつたので、そのシーンが本当に必要なのか、見直そうと思って平日に車を運転して現地に行ってみました。すると車が変な形で止まっていて、見ていると考えていたまさにその場所で事故が起きているんですね。この事故は自分のせいだと思ってしまいました。偶然と言えただの偶然なんですけど、作り話が現実と入れ替わったような気がして気持ちが悪かったですね。

このほかに、江戸川乱歩賞を受賞して作家デビューに至るまでの苦心や、その過程で宮城県図書館を利用して参考文献を取り寄せたことなど、三浦さんの創作活動の裏側がうかがえるお話を聞くことができました。その後、「タイトルはどうやって考え付きますか?」「煮詰まったときにはどうしていますか?」など、会場からの質問に三浦さんが答え、最後に「創作を目指している若い人たちは、自分の知的体力を信じてがんばってほしい」とのメッセージで締めくくられました。

図書館からのお知らせ INFORMATION

企画展「マップ・トリップ ～地図からはじまる知的旅行～」を開催します

ふだん見慣れたものとは異なる視点から作成された地図を中心に、地図を見る際のポイントなどの解説を交えながら、古地図や地図にまつわる資料を展示します。どなたでも自由にご覧いただけますのでぜひお越しください。

- 開催日時 平成19年1月5日（金）から3月1日（木）まで
図書館開館日の午前9時30分から午後5時まで
- 場 所 宮城県図書館 2階展示室
- 展示資料 『坤輿万国全図』レプリカ、『Down Under Map of the World』など、地図資料・関連資料 約50点

▶また会期中、国指定重要文化財『坤輿万国全図』を特別公開します。
●日 時 平成19年2月10日（土） 午前9時30分から午後5時まで

秋田県立図書館で「きらめく叡智と美のしずく展 ～宮城県図書館所蔵貴重書の世界～」が開催されます。

本館がすすめている「貴重資料修復保存事業」の成果である『坤輿万国全図』『禽譜』などの貴重資料レプリカが秋田県立図書館で展示されます。この事業は秋田県立図書館と本館が広域連携事業の一環として開催するものです。

- 場 所 秋田県立図書館 2階特別展示室
（秋田市山王新町 14-31 電話018-866-8400）
- 期 間 平成19年2月27日（火）から3月25日（日）まで

表紙エッセイ／みなみらんぼうさん



みなみ・らんぼう シンガーソングライター。1944年宮城県栗原市生まれ。法政大学社会学部卒業後、ラジオ台本作家を経て1971年作詞・作曲家としてデビューし、1973年歌手デビュー。1976年に発表した「山口さんちのツトム君」はミリオンセラーを記録し世代を越えて、多くの人に歌い継がれている。コンサート活動の他、テレビのリポーター、ラジオパーソナリティー、執筆活動と多方面にわたり活動を続けている。最近では山歩きをライフワークとして、四季を通して国内外の山に登り、新聞・雑誌などに山旅のエッセイを発表している。平成12年11月より東京都武蔵野市の教育委員。

ことばのうみ

題字 作家・高田 宏氏

本誌タイトル『ことばのうみ』は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海（げんかい）』（1889～1891年刊行）に由来する。

第23号 2006年12月発行 〒981-3205
仙台市泉区紫山一丁目1番地1
TEL 022-377-8441(代表)
FAX 022-377-8484
編集・発行 宮城県図書館
ホームページ http://www.pref.miyagi.jp/library/

デザイン/印刷 仙台共同印刷